

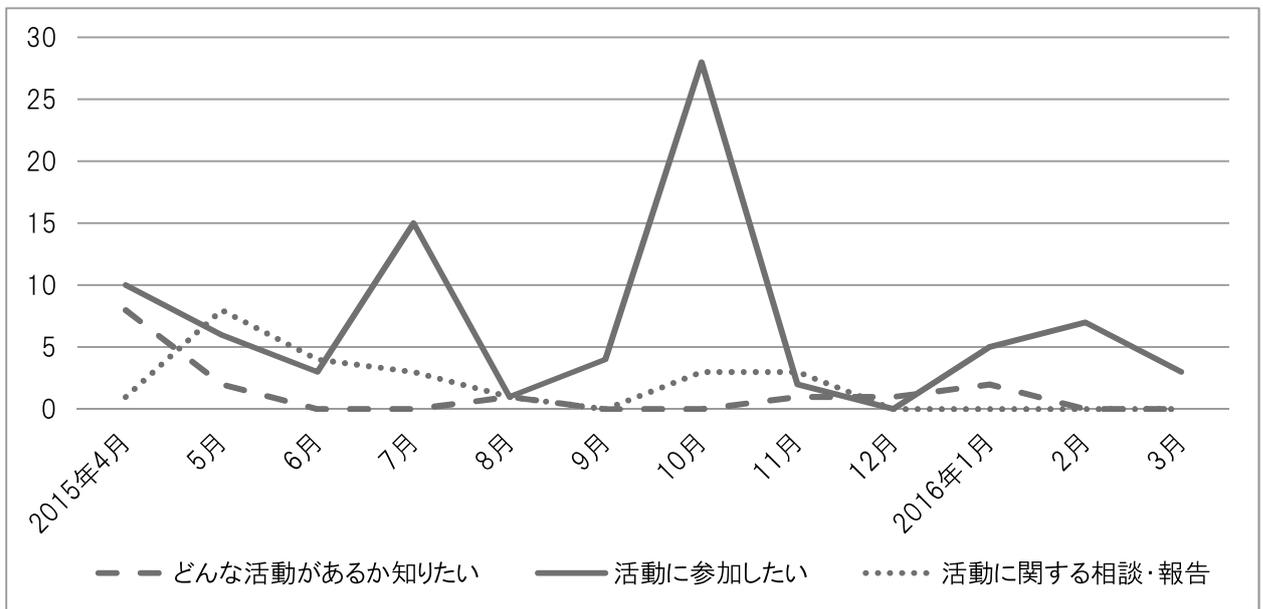
4. 学外のボランティア活動の紹介とその活動の支援に関する事業

(1) ボランティアコーディネート業務

エルピス館2階インターネットカフェに相談窓口を設け、平日12:10~16:30はボランティアを希望する学生の相談や、学生ボランティアを募集したい近隣諸団体のボランティア担当者から相談などを受けた。ボランティア活動への一歩が中々踏み出せない学生の後押しや、ボランティア活動への参加を希望する学生と活動先のマッチング、活動のステップアップのフォローなど、多岐にわたる相談に応じてきた。

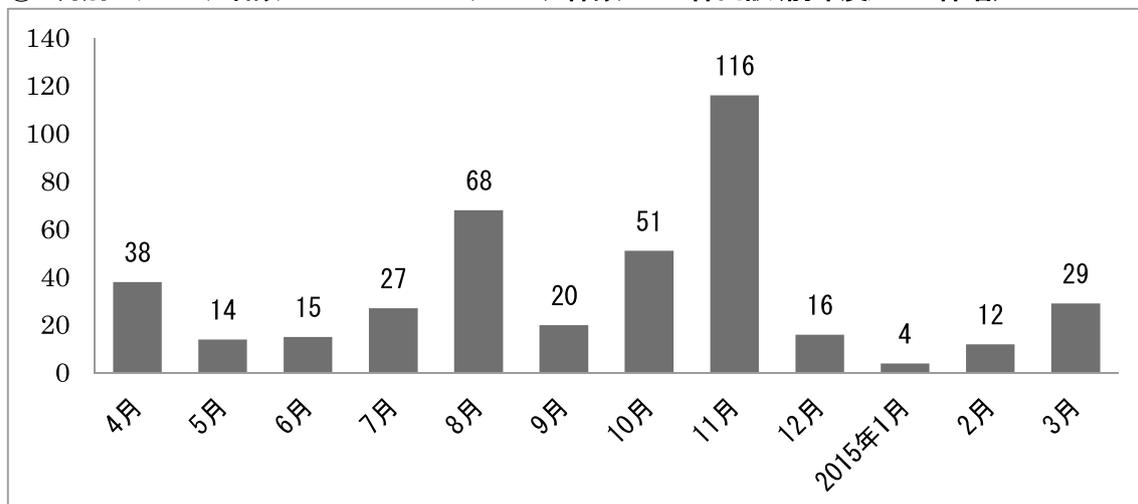
i) 個人ボランティア相談件数と相談内容

相談件数 122件内訳（前年度比39件増）



ii) 新規ボランティアマッチング件数と活動内容

① 月別マッチング者数 のベマッチング件数 410件内訳(前年度比97件増)



② 主なマッチング先

月	マッチング先
4月	大学主催：復興支援ボランティアスタディツアー「桜プロジェクト4」 県内：NPO 法人コスモス・アース、NPO 法人障害者芸術クラブ
5月	県内：NPO 法人コスモス・アース、わここう・あそびの森実行委員会 わ〜っくわく北本、彩の国ふれあいピック春季大会、 視覚障がい者全国大会 県外：GO GO キッズデイあそびのひろば、
6月	県内：上尾環境推進大会 2015、NPO 法人コスモス・アース
7月	県内：上尾特別支援学校 PTA 夏祭り、上尾市地頭方地区盆踊り大会、
8月	大学主催：復興支援ボランティアスタディツアー「よいさっ！プロジェクト2」 県内：りんごの家、さいたま市立与野本町児童センター、上尾の森診療所、 ふるさと上谷沼地域創造塾、みんなの風福社会「みんなの広場」、 社会福祉法人彩明会「児童デイサービスやまと」、 さいたま市民活動サポートセンター 県外：一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校、伊那谷こども村、 日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ
9月	県内：あげおえがおミーティング、NPO 法人コスモス・アース 障害者支援施設さすなの里、 県外：一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校、栃木県小山市社会福祉協議会、 栃木県鹿沼市社会福祉協議会
10月	県内：上尾市立平方小学校、上尾ふれあい広場、NPO 法人コスモス・アース、 さいたまK I - T Aまつり
11月	大学主催：ボラフェス 2015、釜石フェスティバル、 県内：上尾シティマラソン、あげお産業祭、緑区子ども祭り、上尾消費生活展 見沼区ふれあいフェア 県外：茨城県常総市水海道児童センター
12月	大学主催：復興支援ボランティアスタディツアー「サンタプロジェクト5」 県内：上尾市環境政策課、上尾市大谷地区防災講座、 宮原青年クラブサンタクロースイベント 地域活動支援センターベルバッキオ
2016年1月	県内：宮原駅
2月	県内：社会福祉法人彩光会あげほの、 さいたま市北区西部圏域 シニアサポートセンター ゆめの園、 介護老人保健施設日高の里 県外：茨城県常総市水海道児童センター、
3月	県内：第3回自転車のまち“あげお” スマート・サイクル・フェスタ、 上尾市つどいの広場「あそぼうよ」、こども☆夢☆未来フェスティバル、 社会福祉法人彩光会あげほの、デイサービスセンターパストーン浅間台、 さいたま市北区西部圏域 シニアサポートセンター ゆめの園、 県外：岩手県釜石市「釜石のこれまでと、これから。」 日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ

ご対応して下さった団体の皆様、大変お世話になりました。

(2)「夏の“ちょっと”ボランティア体験プログラム」紹介キャンペーン

i) 企画内容

各市町村の社会福祉協議会や市民活動センター等では毎年夏の時期に様々なボランティア活動を体験することができる「夏のボランティア体験プログラム」を開催している。このプログラムの紹介を通じて、一人でも多くの学生にボランティアの機会をつくと同時に、プログラムの周知を通じて、「ボランティアは誰でも関わることのできる身近なもの」という雰囲気や大学内に育むことを目指した。本年度は、7月に開催したボラ Tea でもボランティアの紹介ならびにマッチングを行うことで、より広く当プログラムをアピールすることができた。

またボランティア紹介に終わらず、参加した学生がボランティア体験を通じて、自らに自信を持ち、今後のボランティア活動やキャリア形成につなげていくことをねらいとし、サポメンに協力してもらい、体験報告を含めた事前オリエンテーションと、ふりかえりの会を実施した。

ii) 実施内容とスケジュール

期間・日時	実施内容
7月～随時	各市町村の夏のボランティア体験プログラムの紹介
7月24日(金)	『夏の“ちょっと”ボランティアオリエンテーション』 活動上の注意事項・心がまえ サポメンによる夏ボラ体験報告 自己紹介&ワーク「ボランティア宣言！」 参加者：4名
7月下旬～9月	各プログラムへの参加
10月2日(金)	『夏の“ちょっと”ボランティア振り返りの会』 自分の活動を振り返り、不安だったことや楽しかったことを互いに共有した。 参加者：2名

iii) 相談者数

- ・相談者数：14名
- ・実際の活動者：8名

iv) 成果と課題

- ・今年は例年に比べ、個人ボランティアの希望者の数はあまり伸びなかったものの、7月までに活動意欲の高い学生達はそれぞれ学生ボランティア団体に所属し、定期的にミーティングや活動を展開していた学生が増えた。
- ・オリエンテーションの際、サポメンの学生達の昨年度の夏ボラの体験談をシェアリングできたことで、初めて活動に参加する学生にとって、より具体的なイメージをもてたように感じた。
- ・事前オリエンテーションと振り返りの会を設けたものの、途中で連絡が取れなくなった活動希望学生も多く、人が集まらなかった。
- ・次年度はコーディネーターだけでなく、サポメンなどにも相談対応に入ってもらい、広く声掛けができるように準備を進めたい。

(3)「ボラフェス！2015」の実施

i) 実施概要

実施日：2015年11月2日(月)、3日(火) 10時～15時

実施場所：エルピス食堂

来場者数：11月2日（月）・・・ 313名（昨年度比113名増）
 11月3日（火）・・・ 1185名（昨年度比635名増）

参加学生数：ボラフェス!2015実行委員・・・ 6名
 ボランティアスタッフ・・・ 14名

ii)実施内容

① 福祉施設等の活動紹介と商品販売

聖学院卒業生の就職先や、普段学生達がボランティアでお世話になっている福祉施設を中心に招きし、活動紹介、ボランティア募集、商品の販売などを行った。

- 11月2日（月）出店団体
 - ・NPO 法人リトルポケット「あとりえふぁんとむ」
 - ・社会福祉法人あらぐさ福祉会 労働と教育の場「雑草」
 - ・NPO 法人コスモス・アース
- 11月3日（火）出店団体
 - ・NPO 法人コスモス・アース（2日間出店）
 - ・社会福祉法人皆の郷「第2川越いものこ作業所」
 - ・地域活動支援センターベルベッキオ
 - ・社会福祉法人一麦福祉会「ワークスみぎわ」
 - ・NPO 法人彩の子ネットワーク
 - ・NPO 法人みやはら福祉会「ひびき」

② こども遊びコーナー

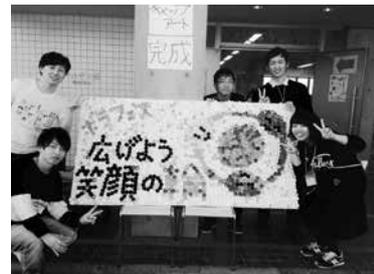
今年は「型抜きコーナー」と「的当てコーナー」の2つを実施した。どちらも子どもだけでなく、学生や大人にも大盛況だった。型抜きは300枚用意したが、全て出し切った。

③ エコキャップアート

大学内で集めたペットボトルのキャップを利用して、今回のボラフェスのテーマを絵として再現。ボラフェスに来場して下さった一般の方にも1つずつポンドで張り付けてもらい、無事に完成した。

④ オレンジリボン運動の啓発活動

児童虐待防止に関する学びの掲示物の展示と、オレンジリボンの配布を通して、啓発活動を行った。



iii)「ボラフェス！2015」参加学生の声(一部抜粋)

- 全体を見て、ボラフェス 2015 は成功したなと感じています。一人では、絶対にできなかったことで、参加してくれた人には本当に感謝です。代表をやってすごく良かったです。来年もやりたい！（代表）
- 学校への関わりが少なかったから、この体験で仲間やいつもと違う学校の雰囲気も知れて良かったです。また、施設の人たちとも話して、仕事内容にも触れることで、将来福祉の分野で働くモチベーションのアップに繋がりました。（実行委員）
- 大学に対してあまり関心がなかったが、興味を持ついい機会だった。（当日ボランティア）
- 団体の方との連携、コミュニケーション不足を感じたので、次回参加する際にはもっと積極的にコミュニケーションがとれるようになりたい（実行委員）

iv)成果と課題

- ボラフェスをスタートして以来、初めて来場者数が 1,000 人を超えた。これには主催の学生の努力はもちろんのこと、出展された施設の皆さんの努力や工夫の成果が実ったのだと感じた。学生と一緒に外に出て呼び込みをしてくださったり、看板も見やすく工夫してくださり、来場される方が建物内に入りやすい雰囲気を創出することができた。
- ボラフェスというイベントを二日間で終わらせるのではなく、年間を通して施設の皆さんとの繋がりを創出できるものにしていきたいと考えてきたことが、今年、ようやく実を結んだ。開催当日は、それぞれの施設でボランティアやバイトをしている学生たちが駆けつけてくれ、売り子をしてくれた。引き続き、地域連携の機会としてボラフェスを継続していけるようにセンターとしてもサポートしていきたい。
- 食品関係を扱う団体が平日参加の希望が多いため、学外に来場者が少ない平日に偏ってしまった。商品がよいだけに、もっと地域の方にも食べてもらい、魅力を知って頂けるようにしたい。
- 今年初めて導入した、エコキャップアート。完成後はボラセンの窓口付近に飾る予定だったが、予想より大きなサイズで作成してしまい、重すぎて壁にかけることが出来なかった。実行委員たちの思いの詰まった絵だったので、もっと多くの人に完成した作品を見てもらえるような工夫が必要だった。しかし、来場者の方と交流しながら一つの作品を作れたことは、学生たちにとって新しい挑戦だったので、振り返りの会で出た反省を踏まえ、来年度より良いボラフェスを創っていてもらいたい。

(4)地域イベントへの参加

上尾市やさいたま市で行われたイベントに積極的に参加した。本年度は実行委員会から参画し、イベント実施に至るプロセスを学生たちが体感できたイベントも多く、大変有意義な活動が多数展開された。

i)地域イベントへの参加実績と参加内容

日にち	依頼元/イベント名	参加内容	参加人数
6月6日(土)	上尾市環境政策課/ 上尾市環境推進大会 2015	ごみの分別クイズコーナー とおもちゃのかえっこ ハザールを担当	9名
7月25日(土)	上尾市地頭方地区/ 地頭方地区盆踊り大会	アカペラ部によるステージ パフォーマンス	25名

9月14日(月)	埼玉県社会福祉協議会/ 災害ボランティア基礎研修	復興支援ボランティアチ ーム【SAVE】、STEPの学生 による活動報告	6名
10月10日(土)	上尾市立平方小学校/ 防災EXPO	小学生の防災体験の手伝い	5名
10月18日(日)	上尾ふれあい広場実行委員 会/上尾ふれあい広場	実行委員会への参画をし、た こ焼き・こどもあそびコー ナーの2ブースを担当	11名
10月25日(日)	さいたま北商工共同組合/ さいたま KI-TA まつり 2015(さいたま市北区)	アカペラ部によるステー ジパフォーマンス、福祉体験ブ ースの手伝い、会場設営・運 営	10名
11月1日(日)	上尾市立平方北小学校 PTA /平方北小学校こどもバザ ー祭り	アカペラ部によるステー ジパフォーマンス	10名
11月7日(土)	見沼区防災アドバイザー会 /見沼区ふれあいフェア (さいたま市見沼区)	炊き出しブースでの手伝い	3名
11月7日(土)・ 8日(日)	上尾市商工課/ あげお産業祭	こどもあそびコーナーの企 画・運営、演劇発表、アカペ ラ部によるステージパフォ ーマンス	27名
11月8日(日)	緑区子どもまつり実行委員 会/緑区子どもまつり (さいたま市緑区)	運営の手伝い	5名
11月14日(土)・ 15日(日)	上尾市/ 上尾シティマラソン	ランナーへのりんご配布等	4名
11月21日(土)・ 22日(日)	上尾市消費生活センター/ 上尾消費生活展	レンジャー・着ぐるみでの開 会式対応、こども対応、イベ ント呼び込み等	18名
12月10日(木)	宮原青年クラブ/宮原にサン タがやってきた (さいたま市北区)	来場児童対応(サンタとの撮 影抽選券の配布、お菓子配 布、会場誘導等)	6名
12月12日(土)	大谷地区自主防災組織 連合会/大谷防災啓発事業 (上尾市)	大谷地区自主防災リーダー と学生と合同で災害図上 訓練(DIG)を実施	5名
2015年9月~ 2016年1月末	宮原駅/ぐぐっと ぐんまフォトコンテスト (さいたま市北区)	宮原駅主催の同イベントに 参画し、聖学院賞の選出と 掲示物作成を実施	4名
2016年 3月1日(火)~ 7日(月)	さいたま市市民活動 サポートセンター主催/ 第5回被災地支援展示& 交流サロン (さいたま市浦和区)	復興支援活動の展示、 サロンでの活動発表(3/6)	

3月13日(日)	見沼区防災アドバイザー会 ／見沼区防災講演会 (さいたま市見沼区)	復興支援活動の報告 【SAVE】、STEP	5名
3月20日(日)	NPO 法人彩の子ネット ワーク／「こども☆夢☆みら い☆フェスティバル」 (伊奈町)	実行委員会から参画 こどもあそびコーナーの ブース企画・運営を担当	18名
3月27日(日)	第3回「自転車のまち “あげお” スマート・サイク ル☆フェスタ」 (上尾市)	実行委員会への参加、アカペ ラ部のステージ発表、こども あそびコーナー対応等	21名

(5)学外団体からの相談対応

立ち上げ4年目となった本年度は、社会福祉協議会やボランティア団体、福祉施設からのボランティア募集依頼に加え、市役所からの連携依頼や相談など多岐に渡った。既に関係性を築いている団体からはメールや資料の郵送が多かったが、今まで同様になるべく顔の見える関係を築いていけるよう努めたい。

i)学外団体相談対応件数

86件内訳

月	来訪	TEL	MAIL	その他
2015年4月		4	1	
5月	2	2		
6月	3	6		
7月	6	6		
8月	1	4	1	
9月	8	9		1(訪問時)
10月	2	3		
11月	1	3		1(訪問時)
12月	2	2		
2016年1月	3	2	1	
2月	1	4	2	
3月		4	1	
合計	29	49	6	2

(6)コーディネーターのスーパーバイズ

昨年度のセンター発足時から、コーディネーターの日々のボランティアコーディネーションについて、毎週1回(15分～60分程度)スーパービジョンを実施している。困難な調整事例や課題のある学生への対応方法など、コーディネーターが一人で抱え込まない環境づくりができた。また、複数で課題を検討することで、様々なアイデアが生まれ、よりよい支援や活動につなげることができた。

■スーパーバイズ：毎週1回15分～60分